

鳥取県－日本

● 日韓露定期貨客航路の試験運航船が入港

2月22日、鳥取県境港市と韓国・東海市、ロシア・ウラジオストク市を結ぶ定期貨客船就航計画の試験運航船が、韓国側訪問団約200人を乗せて境港に入港しました。境港では平井伸治鳥取県知事や中村勝治境港市長らが訪問団を出迎え、鳥取県が新設した境港国際旅客ターミナルで歓迎式典を開催しました。

就航計画では、韓国のDBSクルーズフェリー社が東海－境港を週2回、東海－ウラジオストクを週1回運航することとしています。本格就航は5月下旬となる見通しで、経済、観光、文化等様々な交流の拡大が期待されています。



試験運航船から降り立ち、平井知事らと記念撮影する東海市訪問団